

## 報告：原発問題をめぐる全体状況

＠第95回脱原発八千代ネットワーク定例会

2020年11月28日 川井康郎

### 1. フクシマの状況

- (1) 福島第一のトリチウム他汚染水の海洋放出決定は地元、漁連、多くの関係者らの反対により見送られている。汚染水は現在123万トン溜まっている。大型で堅牢なタンクに保管継続あるいはモルタル固化処理をすべき。
- (2) 11/12水素爆発防止のため窒素を封入している1号機の排気ファンが約2時間停止し、系内が正圧となり、水素濃度やデブリの臨界を監視する機能も停止。原因は操作ミス。設備の脆弱さに懸念。

### 2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 稼働状況：玄海④に加えて、新たに11/21に玄海③、11/17に川内①が再稼働し、運転中は3基。
- (2) 定期点検中の高浜④の蒸気発生器細管4本にまたも減肉損傷を発見。これまでも度々発生している。大事故に至る懸念あり。調査継続中。

### 3. その他のトピック

- (1) 10/26菅首相は臨時国会の所信表明演説にて、「2050年までに温室効果ガスの発生を実質ゼロにする」と宣言。但し一方で、「安全最優先で原子力政策を進める」と。また、11/4の衆院予算委では原発の新増設について「現時点では想定していない」と発言。政策が迷走している。
- (2) 11/4米国は地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」から正式に離脱（1年前に通告）。但し、バイデン次期大統領は就任後ただちに復帰すると公約している。またケリー元国務長官を気候変動対策特使に任命。
- (3) 10/24ホンジュラスをもって核兵器禁止条約の批准国が50カ国に達し、2021年1月22日に条約の発効が決まった。米国等の核保有国と核の傘に依存する日本は参加せず。
- (4) 11/15柏崎市長選は現職の桜井氏が柏崎刈羽原発の再稼働に反対した近藤正道氏を破り当選（桜井：約3.2万票、近藤：約1.1万票）
- (5) 再エネ新電力20数社は容量市場について、9月から経産省と環境省に対して制度の見直しを要請している。「大手より負担が重い」「競争上、不利な立場にある」「再エネの発展を阻害する」等々の問題がある。



<以上>